

# くじゅうタデ原地域の陸生昆虫

## くじゅうタデ原地域の陸生昆虫

かつて、飯田高原には九州では阿蘇くじゅう火山性草原に特有のチョウがいました。その内オオルリシジミやヒメシジミが姿を消して久しく、最近ではゴマシジミ、ヒメシロチョウの姿も見かけなくなりました。タデ原は1980年代に牧草地となり、ワレモコウやツルフジバカマなど多くの植物を失い、また、水脈を山際で断たれて乾燥しています。昆虫類はこの自然環境の変化と火山ガスの影響で打撃を受けました。この地域の昆虫相は以前に比べて質量的にかなり悪化していますが、この現象は今後さらに急速に進行するものと思われます。



吸蜜中のウラギンヒョウモン



林辺のアサギマダラ



草原のカノコガ

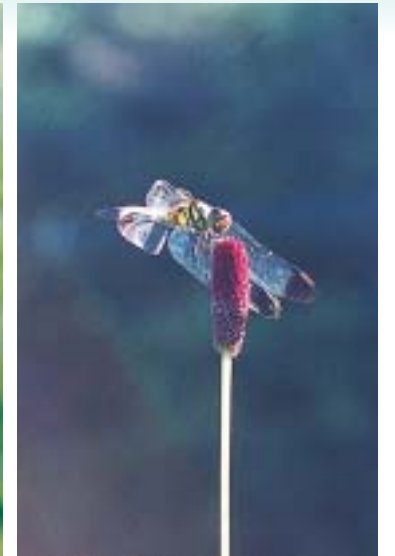
昆虫類は種数、個体数とも全体に少なく、高原特有の種は見られませんでした。また、高原の普通種ギンイチモンジセセリは見られず、ウラギンヒョウモンも少ない。チョウ類の減少は密源となる花の減少など、生息環境の悪化が関係し、この地域から姿を消したミヤマアカネの減少には火山ガスの影響が考えられます。



ヒゴタイとアキアカネ



アブラガヤとアキアカネ



ワレモコウとノシメトンボ



産卵中のキイロホソガガンボ



ミヤコザサに憩うカワトンボ



草原の主イナゴモドキ



雌を待つマダラガガンボ



モウセンゴケと吸水中のセイヨウミツバチ



若々しいエゾアオカメムシ



ユキザサの花に夢中のフタオビノミハナカミキリ